

# 梅ヶ島 山の声



～ 梅ヶ島出張所通信 ～

コノハみっくん



## 大学生によるキャンプ砂防を開催しました～8月28日(木)～

我が国は、急峻な地形、脆弱な地質により土砂災害を受けやすい条件下にあります。また、近年中山間地域では、過疎化などにより山林の荒廃が進み、土砂災害の発生が大きな社会問題となっています。

このような中山間地域の現状を全国の学生に体験していただき、防災対策のあり方を学び、砂防の意義・役割を考えることを目的として平成8年度より全国の砂防関係事務所で「キャンプ砂防」を実施しています。

今年も、将来の砂防技術者を志す、京大、日大の2名の学生(一名は女性)が管内を視察しました。大谷崩の山腹対策工や砂防堰堤の役割など熱心な質問があり、砂防などの土木技術が敬遠されがちな中、大変頼もしく感じました。



完成したトイグチ沢砂防堰堤と大谷崩山腹対策工事を視察する学生

## 木曽の御嶽山が噴火～9月27日(土)～

長野、岐阜県境にある御嶽山(おんたけさん)(3,067m)が9月27日午前11時53分に7年ぶりに噴火しました。御嶽山は富士山や立山などと並ぶ信仰の山として知られ、紅葉シーズンの週末で多くの登山客らが被災してしまいました。

噴火警戒レベル1から一気にレベル3になりました(噴火警戒レベルは右表参照)。国土交通省中部地方整備局は、27日12時36分に災害対策本部を設置し、以下の対応をしています。



噴火警戒レベル

| レベル | 内容     |
|-----|--------|
| 5   | 避難     |
| 4   | 避難準備   |
| 3   | 入山規制   |
| 2   | 火口周辺規制 |
| 1   | 平常     |

<TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)の活動状況(9月末の延人員)>

- リエゾン派遣(27日～)：長野県庁をはじめ各市町村役場などへ41名を派遣
- 被災状況調査班(ヘリ)：7名派遣 27日調査(下記参照)、28日～調査(国総研、気象庁、中部地整)
- 被災状況調査班13名、情報通信班11名、照明車5台、衛星通信車2台 自衛隊、消防の捜索活動支援
- 応急対策班：道路降灰除去10名、路面清掃車3台派遣 木曽町の要請で町道の降灰除去作業

今後は、長野県木曽町開田高原をはじめ、風下にあたる長野県南部、山梨県西部、静岡県北部でも降灰に注意する必要がありますと思われる。

開田高原保養所 別荘地、テニスコートに降灰が見られる

御嶽山山頂

火口位置

降灰が見られた範囲

御嶽ロープウェイ 鹿ノ瀬駅 駐車場に降灰が見られる

- ・火口は山頂南側～西側に3か所確認された
- ・噴火現象は噴煙のみ確認



国交省の防災ヘリ(まんなか号)による噴火当日の調査結果

## ピワミス沢砂防堰堤事業説明会を開催～9月12日(金)～

大河内小・中学校の周辺はトイグチ沢とピワミス沢の土石流危険渓流に指定されています。国交省では、過去に土石流が発生し、また小・中学校が避難地に指定されていることから、本地区は優先度の高い地域となっています。

トイグチ沢砂防堰堤は既に竣工し、次はピワミス沢砂防堰堤を計画していることから、堰堤位置や構造、流路工のルートなどの事業説明会を平野公民館にて開催しました。

住民からは、今後の事業の進め方について質問があり、また説明会に参加できなかった住民に情報提供したいといった要望もあり、大変熱心に参加して頂きました。今後は、用地測量から順次事業着手していきますので、ご協力をお願い致します。



ピワミス沢砂防堰堤説明会(平野公民館)

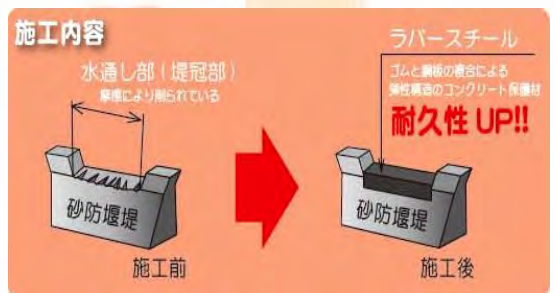
## 「工事だより」平成25年度 安倍川水系大河内砂防堰堤改良工事

【施工者: 静鉄建設(株)、現場代理人: 小澤孝至、監理技術者: 河村武伸、工期: 平成26年3月18日～平成27年3月27日】

大河内堰堤は戦時中一時中断し昭和26年に完成しました。その後、補強工事を実施しましたが、長年の安倍川の土石を含む流水により水通し部が摩耗し、損傷が著しくなってきました。

そこで本工事は、摩耗した水通し部をコンクリートで復旧し、表面を厚さ5cmのゴムで保護します。このラバースチール工法は、ゴムが石の衝突エネルギーを面で受け衝撃を分散・緩和させるため、コンクリートの場合の1点で受けるよりも耐久性に優れています。

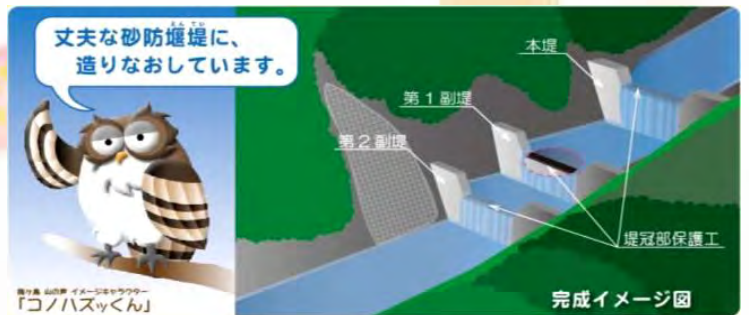
20年以上の施工実績でも、破損した事例はないそうです。



工事内容のイメージ



半世紀以上経過し水通し部が摩耗した大河内堰堤



工事完成イメージ図

## 編集後記

南アルプスが今年6月11日、ユネスコエコパークに登録されました。静岡市、川根本町の他、長野県飯田市、山梨県南アルプス市など3県10市町村の連携による、南アルプスを基盤とした魅力ある地域づくりが期待されます。

4月1日、国土地理院は測量技術の発展、地殻変動等の影響で、全国の三角点を改定し87の山岳標高が見直されました。間ノ岳は1m高くなり3190mで全国第3位タイとなりました。2位の北岳も南アルプスにあり、1位の富士山を眺望できるなど、全国の皆さんから注目されることになりました。

今年には2014年、標高2014mの山伏も全国に注目されています。不通であった県道27号、189号が開通し、林道勘行峰線を通り百畳峠駐車場まで車で行くと、約40分で山伏に登頂できます。富士山の眺めは最高です。

なお、大谷嶺の三角点は、大谷崩れにより流失しています。

皆様からの情報やご意見を募集していますので、以下までお願い致します。

Tel: 054-269-2003、E-mail: [http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05\\_jigyuu/02\\_office/toiwase.html](http://www.cbr.mlit.go.jp/shizukawa/05_jigyuu/02_office/toiwase.html)



安倍川上流部の三角点

